

立石地区 大規模雨水処理施設整備事業計画（藤岡市）

（様式１）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	立石地区は北藤岡駅前を新市街地の拠点として地区内の都市計画道路と区画道路、公園等の公共施設の整備改善と宅地利用増進を図り、公共の福祉の増進に資することを目的に土地区画整理事業を施行している地区である。 これまで区画整理事業地内の雨水排水を目的に、烏川（一級河川）を排水先として平成１５年度より下流側から整備を行っていたが、区画整理事業地内は既存の道路ではなく土地区画整理事業で整備された道路に管路を敷設するため、土地区画整理事業と調整を図りながら事業を進めてきた。 しかし、近年、集中豪雨の増加により、区画整理事業地内では道路冠水による通行止めが頻繁に発生し、浸水に対するリスクが高まっているため、早急な浸水対策が急務な状況にある。
整備目標	①本計画における対象降雨 ・本計画における対象降雨：６３mm／h （中島排水区：６０mm／h） ・目標とする理由：公共下水道事業計画における計画降雨 ・ハード整備による整備水準の目標：６３mm／h（５年確率） （中島排水区：６０mm／h） ②目標設定 i）生命の保護の観点：区画整理事業地内の浸水被害を防止する。 ii）都市機能の確保の観点：道路の冠水被害を防止する。 iii）個人財産の保護の観点：家屋の浸水被害を防止する。 iv）その他：特になし ③ハード、ソフト対策及び自助の役割分担について i）ハード対策 施設整備により６３（中島排水区６０）mm／h（５年確率）において浸水被害を防止することを目的とする。 ii）ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による土のう設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。
内水ハザードマップ策定状況	・有（令和７年７月１日策定済み） ※想定最大規模降雨１５０mm／h

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
主 な 事 業 内 容	公 助	ハード対策	下水道管理者	・雨水管渠の整備 排除面積286.6ha (内径Φ2,400・□2800×2500 □3300×2100)
			下水道管理者 以外	
		ソフト対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの作成・公表 ・雨水出水浸水想定区域図の作成・公表
			下水道管理者 以外	・藤岡市ハザードマップの作成・公表 (総務部地域安全課) ・「マイ・タイムライン」に関する情報提供 (総務部地域安全課) ・メール、X、LINE等の情報発信ツールを 用いた情報周知(総務部地域安全課)
	自 助	ハード対策		・土のう設置(市職員機動隊)
		ソフト対策		・「マイ・タイムライン」の作成 ・情報発信ツールによる情報収集

年 度 計 画								(百万円)
名称	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度	令和13 年度	令和14 年度	計
雨水管渠	129	464	336	100	75	75	30	1,209
計	129	464	336	100	75	75	30	1,209

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 被害額：7,667百万円が削減される。 B/C：6.95 経済的内部収益率：17.7% <その他の定量的な効果> 都市浸水対策達成率：39.9%→86.5% ソフト対策、自助の整備効果： 内水ハザードマップによる情報提供及び各戸における土のう設置等を併せて 行い、浸水被害をできるだけ小さくする。
放流先河川と の調整状況	本事業の下流側および放流先河川の樋管は施工済みとなっているため、調整の 必要はない。
その他	特になし。